

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-30715

(43)公開日 平成5年(1993)2月5日

(51)Int.Cl.⁴
H 0 2 K 17/16

識別記号 庁内整理番号
Z 7254-5H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号 特願平3-180893

(22)出願日 平成3年(1991)7月22日

(71)出願人 000006242

松下精工株式会社

大阪府大阪市城東区今福西6丁目2番61号

(72)発明者 原口 栄徳

大阪府大阪市城東区今福西6丁目2番61号

松下精工株式会社内

(74)代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 組立式かご形回転子

(57)【要約】

【目的】 組立式かご形回転子の組立における、導体柱の両端部をエンドプレートの係合孔に挿入する作業が容易に行えるようにする。

【構成】 積層鉄芯5の所定の傾斜を有するスロット4のそれぞれに円柱状の導体柱6を、その両端を積層鉄芯5より突出させて挿入装着する。そして、円板状でその外周部にこの導体柱6の両端部を挿入する長孔状の係合孔7を有し、この長孔状の係合孔7の長径Kを導体柱6の傾斜方向に位置させた円板状のエンドプレート8を備えることにより、傾斜した導体柱6の両端部をエンドプレート8の係合孔7に挿入するとき、導体柱6の積層鉄芯5より突出した両端部の傾斜寸法を係合孔7の長径部が吸収するので、その両端部を折曲しなくともスムーズに挿入することができる。

1---開口部
5---積層鉄芯
6---導体柱
7---係合孔
8---エンドプレート

